

地域の話

江 予算案、条例案など 松 議員が討論

2月定例市議会最終日の3月26日、橘祥朗市議は「消費税増税と新型コロナウイルスの影響で暮らしが大変な中で、国保、介護、後期高齢者医療など負担が増大している。暮らしや福祉を大事にし、原発稼働に反対し、市民の命と安全を守る市政をめざすべき」と強調。その上で

国保引き下げを 田食議員が要求

①国保料の限度額を引き上げる条例改正など

新型コロナウイルス 早急な具体策を

「2月28日に出勤した時に『来週から休校なので今日で終わります』と言われて、そのまま本年度の仕事が終わり



大平よしのぶ 前衆議院議員

アツクく やさしく

「3月上旬、広島のある私立小学校に勤める非常勤講師の方から党広島県委員会宛にメールが届きました。メールの主は30代の子育て真っ最中の女性で一斉休校によって年度末までだった雇用契約が一カ月早く打ち止められたと。私から雇い止めは断じて許されなことを告げ、教職員組合を紹介しました。

組合役員の方から文部科学省の雇い止めを戒める通知の存在を知らされ、後日それを持って学校に契約打ち切りの撤回を求めた所、認められ、3月も雇用が継続

は低所得層が圧倒的に多い現状にあります。田食町議は「国保会計の基金保有額は県内最上位クラス」と指摘。新たな基金保有額ガイドラインを設定し、基金をさらに取り崩すなど国保税を引き下げるよう要求しました。「田食道弘のほんだにニュース」より

江津市では市内企業を対象に、島根県中小企業制度融資の「資金信用保証料補助金交付制度」を創設しました。この新たな制度は新型コロナウイルス

は低所得層が圧倒的に多い現状にあります。田食町議は「国保会計の基金保有額は県内最上位クラス」と指摘。新たな基金保有額ガイドラインを設定し、基金をさらに取り崩すなど国保税を引き下げるよう要求しました。「田食道弘のほんだにニュース」より

江津市では市内企業を対象に、島根県中小企業制度融資の「資金信用保証料補助金交付制度」を創設しました。この新たな制度は新型コロナウイルス

は低所得層が圧倒的に多い現状にあります。田食町議は「国保会計の基金保有額は県内最上位クラス」と指摘。新たな基金保有額ガイドラインを設定し、基金をさらに取り崩すなど国保税を引き下げるよう要求しました。「田食道弘のほんだにニュース」より

江津市では市内企業を対象に、島根県中小企業制度融資の「資金信用保証料補助金交付制度」を創設しました。この新たな制度は新型コロナウイルス

江津市では市内企業を対象に、島根県中小企業制度融資の「資金信用保証料補助金交付制度」を創設しました。この新たな制度は新型コロナウイルス

江津市では市内企業を対象に、島根県中小企業制度融資の「資金信用保証料補助金交付制度」を創設しました。この新たな制度は新型コロナウイルス

江津市では市内企業を対象に、島根県中小企業制度融資の「資金信用保証料補助金交付制度」を創設しました。この新たな制度は新型コロナウイルス

江津市では市内企業を対象に、島根県中小企業制度融資の「資金信用保証料補助金交付制度」を創設しました。この新たな制度は新型コロナウイルス

江津市では市内企業を対象に、島根県中小企業制度融資の「資金信用保証料補助金交付制度」を創設しました。この新たな制度は新型コロナウイルス

仁比 原発再稼働、消費税増税、社会保障削減、格差拡大、戦争する国づくり

今の日本社会、暮らしの現状は危機的ですよ。安倍政治を終わらせるためには、一騎打ちの選挙にしないといけないわけです。野党の本気の共闘を進展させることが求められています。

小松 衆議院選挙と2回の参議院選挙、高知県でマツケンさんが奮闘したような一連の県知事選を通して、野党共闘が発展してきましたよね。マツケンさんの「ここでいっしょに生きよう」というスローガンが上だったとも聞いています。

仁比 10年前、名護市長選挙で稲嶺ススムさんを当選させて「オール沖縄」の源流ができました。安保法制強行に対してこの4年半、全国的な市民と野党の共闘へ発展してきました。昨年の参議院選挙では島根・鳥取の中林よし子さん、高知のマツケンなど3選挙区で共産党候補が野党統一候補になるまでに。選挙結果全体を見ると「改憲勢力」を参院で3分の2割れに追い込み、自民党が参院で単独過半数を失った。確信に

小松 13項目の中に農業問題が入ってなかったですね。先日、滋賀での集會に嘉田由紀子さん(元滋賀県知事、参議院議員)、山下よしき党副委員長と参加しましたが、「農業問題が入っていませんよね」と言ったら「これからバージョンアップしますから」と言われたんです。

仁比 農業と貿易政策ですね。野党間で立場の違いはありますが、共通政策へと発展の可能性は十分あります。先の共通政策では、消費税10%増税中止、税の公平性を守らないといけないんだというところまでに至った。現実の8%増税が深刻な長期不況をもたらさし、格差

仁比聡平 × 小松泰信 対談④

をを広げ、地域経済も大変な事態になつていくという現実が、国民の共通認識として共有されるようになってきたからです。農業の問題も、リアルに「地方の眼力」を働かせてみれば、これ以上の農産物の輸入なんかあり得ないとなる。現実がリアルに共有されていけば、共通政策に発展すると思うんです。希望をきちんと示す本気の共闘をやらせる根っこは「市民の要求と運動」の力ですよ。

小松 ぜひ農業問題を共通政策に入れてほしいし、安倍政権に代わる野党連合政権構想を示してほしい。そのためにも共産党が伸びなければならぬと思うんです。赤旗日曜版でも書きましたが、共産党は「岩盤倫理」を持っていて。まじめすぎて堅いよねって話。でも「岩盤倫理」が際立つという事は周りがいかに倫理を喪失しているかという事なんですよ。今の時代、日本共産党は例えばある面では孤独になるってこともあるかもしれないけど、譲ってはいけない。

仁比 小松さんの「岩盤倫理」。安倍政治に変わる新しい希望を作る上で共産党の旗印ですよ。共産党だからこそ対米従属の大企業支配に対して正面から対決する。要求で一致し団結してこそ社会は変えられるという統一戦線の要になることができるということですね。

小松 共産党政権になれば農地を召し上げられると思ってる人も多い。党綱領を読めば旧ソ連や中国とは全く異なる「未来社会論」を持っていることもよくわかるんですがね。

仁比 小松さんは「おのずが信ずるところへ行け」と入党され、大きな影響を与えています。

小松 赤旗配達も始めました。お役に立てることなら遠慮なく言って下さい。(終り)